

# 養護教諭・産婦人科医師と連携した「いのち」の教育

～わたしが生まれたとき～

## 目標・ねらい

養護教諭や産婦人科医師の話聞いて、自分の「いのち」について  
関心を持つとしている。  
誕生までのことを家族からの手紙を読んで知り、自分の「いのち」がかけがえないものであることに気づき、「いのち」を粗末にはしない気持ちをもつことができる。  
胎児の発育について、講話や提示物から理解することができる。

教育課程上の位置づけ  
全教育活動

(関心・意欲・態度)  
(思考・判断)  
(知識・理解)

## 事前指導・経緯

### 校内広報活動

生徒指導部より、本年度「いのちを大切に  
するキャンペーン」の取り組み内容に  
ついて知らせる

### アンケート・意識調査

子どもたちの実態が反映できるように、  
意識調査項目を作成・検討する。  
5年生の子どもたちに意識調査を実施する。

#### \*参考資料

小学生版授業セット2巻  
胎児の成長と誕生  
船橋市立市場小学校研究実践集  
大多喜町立大多喜小学校研究紀要

### 講師の選定・事前打ち

テーマ・目的にあった講師の選定  
授業内容の事前打ち合わせ  
子どもたちの実態にあった内容の展開  
(意識調査の反映)  
保護者への手紙依頼

### 各教科との関連を視野にいれた学習

4年国語「体のしくみ」では、人の体の一部である皮膚と発熱の関係をとり上げ、お互に関連し合って解熱作用を巻き起こしていることを説明文から理解してきた。

5年理科「メダカの育ち方」「人間の誕生」では、それぞれがたまごや卵子・精子から成長していることを図や視聴覚資料から理解してきた。

6年保健体育「ぼくの成長・私の成長」では、幼児から少年・青年へと成長するにつれ、体のつくりや心の成長に変化が起こることを知る。

新聞記事や雑誌等を利用して、自殺者や少年犯罪事件等の報道を通して問題点や今後の生き方について話し合う。

一人ひとりの子どもたちが「いのち」についてどのように捉え、考えているか個別面談を通して聞く。

#### 問題点

「いのち」について考えたことがない  
子どもが19名中15名いる。  
自分の誕生について聞いたことがない  
子どもが19名中14名いる。  
低学年での学習内容の削除(生活科)

### 校内広報活動

5年生担任が中心となり、  
授業実践公開を知らせる。  
生徒指導担当が「いのちを大切に  
するキャンペーン」との関連について  
広報活動する。

#### 日程・場所・講師・指導案

### 保護者への周知依頼

「いのちを大切に  
するキャンペーン」のテーマ  
や取組内容等を周知する。  
家庭での話し合いや手紙  
作成を依頼する。  
授業参観を呼びかける。

### 養護教諭とのTT

授業の目標、内容を話し  
合う。  
資料の選定、内容検討を  
する  
発問等の検討をする。  
担任・産婦人科医師等との  
連携を図る。

## 実施内容

実践授業  
学級活動「わたしが生まれたとき」(第5学年)  
胎児になるまでの説明  
「いのち」が誕生する時の話  
家族からの手紙

\* 妊婦さん  
から心音を  
聞かせて  
もらう



\* 養護教諭による説明  
母親のおなかの中で大きくなっていく  
様子を周期を追って分かりやすく説明



医師が提示  
した実際の  
胎盤



\* 保護者からの手紙を  
真剣な顔つきで読んでいる子どもたち



## 事後指導

### 話し合い活動

授業の感想を書く。  
お礼の手紙を書く。  
(養護教諭・医師・妊婦さん) <授業後の感想>  
家族での話し合い

### <養護教諭宛の手紙>



### 校内広報活動

講話内容の紹介  
取り組みの評価  
学校だより発行  
啓発活動  
広報「おおはら」

### 広報「おおはら」抜粋

かけがえのない「いのち」 東小学校  
「命」かけがえのない「いのち」。今、「いのち」の大切  
さを学ぶ機会が増えてきています。  
東小学校では、昨年12月16日に5・6年生を対象に  
「いのち」の大切さについての授業が行われ、学級担任  
と養護教諭により「わたしが生まれたとき」を課題とし、  
命の誕生から成長するまでの過程を学びました。また、  
もりかわ医院の医師と一か月後にお産をひかえたお母  
さんへ、「赤ちゃん誕生」の学習では、胎児の「胎  
児の心音」を聴き、児童からは「すごく嬉しいよ、どうし  
てなの?」という質問に「赤ちゃんの心臓は遅くないと  
生きていけないんだよ」との返答にびっくり、涙を流

### 保護者への周知

授業公開  
家庭での話し合  
い奨励

## 取組の評価

少年犯罪等が増加傾向にある今、たった1つしかない「いのち」を大切にする授業を展開することにより「いのち」の誕生や、心音を聞くことにより「いのち」の大切さを実感として体得できた。さらに、母親に対する感謝の気持ちを持つたり、「いのち」を粗末にしてはならないという気持ちを持つことができた。さらに、地域に発信することができた。